

平成 26 年度第 7 回霞ヶ浦自然観察会結果報告

「魚の観察と食文化を学ぶ」(Aコース)

「ミクリ、ヒナギキョウを見る」(Bコース)を実施しました。

開催場所：平成 26 年 8 月 9 日 (土) 9 時 00 分～15 時 00 分

開催場所：午前 霞ヶ浦湖岸 (行方市・霞ヶ浦ふれあいランド周辺)

午後 富士見塚古墳公園 (かすみがうら市)

参加者：22 名

今回の観察会は霞ヶ浦大橋の行方側湖岸で、魚類観察と植物観察の 2 コースに分かれて行いました。当日は台風の影響も心配されましたが、無事に実施することができました。

行きの車内では福田先生から観察地の植物について、またミクリの花を例に動けない植物が身につけた巧みな戦略である自家不和合性について解説していただきました。続いて有吉パートナーから、テーマ植物のミクリ、ヒナギキョウと、最近問題になっている侵略的外来植物についてお話していただきました。

現地到着後は A コース、B コースに分かれて観察しました。A コース (魚類観察) は高須崎公園前のワンドで、投網ととも網で採取した魚を観察しました。短い間でしたが、魚類・甲殻類 11 種類ほど観察できました。

B コース (植物観察) はふれあいランド前湖岸から高須崎公園方面へ湖岸を移動しながら、テーマ植物のミクリやヒナギキョウを観察しました。またミズヒマワリやオオフサモなどの特定外来生物に指定されている植物が勢力を広げている問題も確認できました。

昼食を挟んだ後は午後の観察を行う予定でしたが、雨が心配されたため、急きょ霞ヶ浦大橋を渡った対岸の富士見塚古墳見学に変更しました。展示室で出土した土器などを見たり、古墳を上ったりして、この地の歴史を学びました。古墳から見る霞ヶ浦の景色は格別でした。

帰りの車中では新関パートナーから霞ヶ浦の食文化について、クイズ形式の工夫を凝らしたお話をしていただきました。

事故もなく、無事に観察会を行うことができました。参加者のみなさん、福田先生、パートナーのみなさんありがとうございました。

環境活動推進課 福井正人



B コース (植物観察)

福田先生のていねいな説明に参加者のみなさんも熱心に耳を傾けます。



常連高校生の参加者
投網の腕はすごいです。



Aコース（魚観察）参加者のみなさん



スジエビ
コイ
ヌマチチブ



ヒナギキョウの花



ミクリの実

